

冬季救助訓練を実施

江別市消防本部

江別市消防本部は2月2日、野幌森林公園において隊員の救助技術の向上を目的とした冬季救助訓練を実施しました。訓練には、札幌市消防局、北広島市消防署及び北海道森林管理局石狩森林管理署が参加し相互の協力体制の構築を図りました。また、訓練では総務省消防研究センターの携帯電話情報収集端末「イージー・レポータ」及びGPSを使用し、森林や山間地等の特異な地理条件下での搜索技術として、酪農学園大学の協力を得て、GIS（地理情報システム）の活用検証を行いました。



近隣消防機関との合同救助訓練を実施

小学校の公開授業で助け合いの心を語る

東京消防庁

田園調布消防署は2月8日、大田区立田園調布小学校4年生の社会科公開授業で、当署の署員がゲストティーチャーとして授業を行いました。授業は、大田区小学校社会科部の研究授業として公開され、「地域のつながり」をテーマに東日本大震災の現地での活動や感じた事などを小学生にもわかりやすく語りました。授業では生徒をはじめ、区教育委員会や他校から訪れた教諭も、現地での辛い体験や被災地からもたらした勇気の話に大きくうなずきながら聞き入り、時間を延長するほどの盛りあがりをみせました。



活発な質問があがった社会科公開授業

消防通信 望楼 ぼうろう

茨木市消防音楽隊30周年記念演奏会を開催

茨木市消防本部

茨木市消防音楽隊は1月29日、消防音楽隊30周年記念演奏会をきらめきホールにおいて開催しました。当消防音楽隊は昭和56年2月、音楽を通じて市民の消防に対する認識を深め、防火思想の普及啓発等を図るために発足し、昨年2月に発足30周年を迎え、このたび記念演奏会を開催しました。演奏会では「ハローファイヤーマン」、「坂本九コレクション」などアンコールを含め全8曲の演奏を披露しました。当日は、多くの市民の方が来場し、会場が満席となる大盛況のなか演奏会は終了しました。



結成30周年を迎えた茨木市消防音楽隊

救助業務検討会を開催

高島市消防本部

高島市消防本部は1月17日、木材を活用した重量物安定化技術（クリビング）についての検討会を開催しました。この技術は、救助活動において障害となる重量物がある場合や要救助者がその重量物の下敷きとなっている場合（重機が近寄れない現場）に、重量物を持ち上げ、木材で安定化を図るものです。雪が残り、冷たい風が吹く中、座屈した耐火建物や倒壊した木造家屋に取り残された人を安全かつ迅速に救出・救助する技術を身につけようと隊員たちの熱い志が伝わってくる検討会でした。



残雪ある状況下で行われた救助業務検討会

消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】